



さあ、**教育者**への
トビラを開こう！

山梨大学教育学部

高校生のための夏季教職入門講座

「教育者」へのトビラを開き、はじめの一步を踏みだしてみませんか。山梨大学教育学部では、高校生のための教職入門講座を開催します。教育の仕事に興味関心をもつ山梨県内外の高校生の皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和5年 **8**月 **4**日(金)

場所：山梨大学 甲府西キャンパス

対象：高校2・3年生(山梨県在住でなくても構いません)

参加申込は →
QRコードから！



高校生のための夏季教職入門講座

「教育者」へのトビラを開き、はじめの一步を踏みだしてみませんか。山梨大学教育学部では、高校生のための教職入門講座を開催します。教育の仕事に興味関心をもつ山梨県内外の高校生の皆様のご参加をお待ちしています。



講座① 学ぶ人から教える人へ —国語科の授業づくりを手がかりにして—

高校生のみなさんにとって、授業は、学ぶ場として意識されていることと思います。ですが、教師を目指すには、教える立場から授業を捉えることが必要になります。一方で、教師は、一人の学び手でもあります。では、教師にとって、授業における「教え」「学び」とは、どのようなものなのでしょうか。

この講座では、まずみなさんに、児童や生徒の立場から、国語科の授業に参加していただきます。その上で、授業をつくるために教師は事前にどんな教材研究を行い、何を教えようとしていたのかということや、授業の過程でどのようなことを考え、何を学んだのかということを提示します。教師の仕事の魅力について考えるきっかけになればと願っています。

講師：齋藤知也 教授(言語教育コース)



講座② 育つ人から育てる人へ —子どもを「主体」として理解し、受けとめる先生になる—

私たちはみんな、自分の感覚、感情、考え、意思などを持っています。教師は、子どもたちひとりひとりを、そういった感情や意思を持つ「主体」として理解し、受けとめて、必要な指導をしています。面白い授業や話のかげに、この原則と努力があるのです。

梨大の教育学部では、そんな先生になるための授業があります。この講座で、それを体験してみてください。映像を手掛かりに、子どもを理解し、子ども同士が交わりながら育っていくように支え、指導する教師の仕事について、みんなで考えて、学んでみましょう。

講師：秋山麻実 教授(幼小発達教育コース)

◆日時 令和5年8月4日(金) 13:10~16:20

◆場所 山梨大学 甲府西キャンパス(山梨県甲府市武田4-4-37)M-12教室

◆対象 高校2・3年生(山梨県在住でなくても構いません)

◆申込み方法

参加のためには事前の申し込みが必要です。参加希望者は下のQRコードよりお申し込みください。

申込み締切：7月31日(月)

◆問い合わせ先

山梨大学教育学部 055-220-8103
edu-hs@yamanashi.ac.jp



ここから申し込んではね!



翌日の8月5日(土)には山梨大学のオープンキャンパスが開催されます。詳しくは、山梨大学のHPを見てください。

<https://www.yamanashi.ac.jp/>

